

令和2年度

## 列車内鉄道絵画展入賞作品

【応募総数】393点(56校・園)

【応募期間】令和2年6月23日～令和2年9月4日

# 募集要項

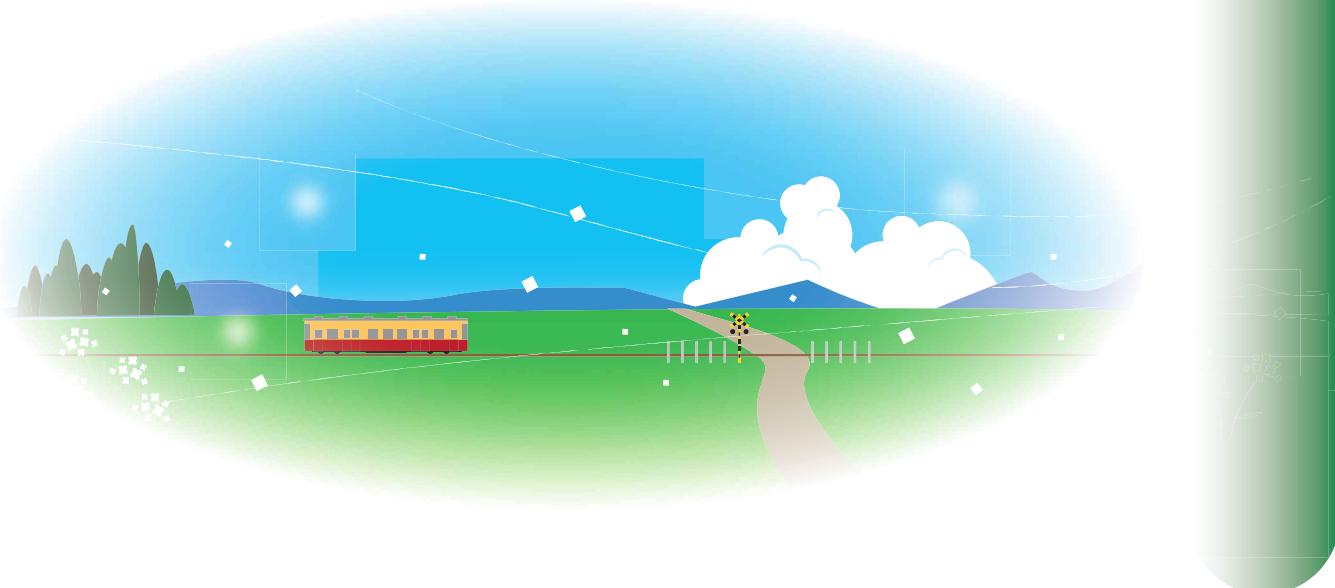
## 審査員

高見 雅博	(たかみ まさひろ)	一般社団法人示現会兵庫支部長
前田 裕刀	(まえだ ひろわき)	兵庫県教育委員会播磨東教育事務所図工・美術担当(防災教育専門推進員)
濵谷 秀文	(しぶたに ひでふみ)	西日本旅客鉄道株式会社加古川駅管区加古川線区長
織田 吉文	(おりた よしふみ)	神戸電鉄株式会社鉄道事業本部技術部副部長
高井 均	(たかい ひとし)	北条鉄道株式会社総務企画部長
野村 孝	(のむら たかし)	JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会委員(兵庫県北播磨県民局副局長)

- 1 内 容 JR加古川線、神戸電鉄粟生線及び北条鉄道を走る列車や駅などをテーマにしたもの。
- 2 主 催 JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会(事務局・兵庫県北播磨県民局)
- 3 協 力 西日本旅客鉄道株式会社・神戸電鉄株式会社・北条鉄道株式会社
- 4 応募要領 未発表のもので、一人1点までとする。題名、学校(園)名、学年、氏名を記入のうえ、郵送、持参で応募。
- 5 賞 大賞 1点  
加古川線賞 1点  
栗生線賞 1点  
北条鉄道賞 1点  
佳作 10点
- 6 発 表 審査会終了後、該当者に通知。兵庫県北播磨県民局のホームページ等で発表。
- 7 活用方法 応募があつた全作品をJR加古川線、神戸電鉄及び北条鉄道の列車内に展示し、また、入賞作品をもとに作成した鉄道利用促進啓発カレンダーを、駅や交流施設に配布、掲示するなど鉄道の利用促進と沿線地域の活性化等に活用する。

## 《審査員全体評》

今年は、新型コロナウイルスの影響で、学校や園は授業時数確保や感染予防など大変苦労をされ、課題も出していく状況だったと思います。結果、これまで年々増加していた応募数は減少しましたが、その分応募作品は列車への愛着、関心が高いと思われるものばかりで、審査会場には一生懸命画面紙に向かう子どもたちの姿が浮かんでくるような作品群にうまりました。どれも素晴らしい、審査員を悩ませました。入賞作品も、惜しくも入賞を逃した作品も甲乙つけがたいものばかりでした。





「四季を楽しむ電車の旅」  
加西市立泉小学校 6年  
大谷 幸輝

▼しっかりととした構図と美しい色彩に思わず見とれてしましました。鋭い観察力の中にも対象を見る目に優しさを感じられます。奥行き感もよく表現された絵からは、その場の空気や風さえ感じられ、観る人の心を惹きつける作品となりました。

《審査員講評》



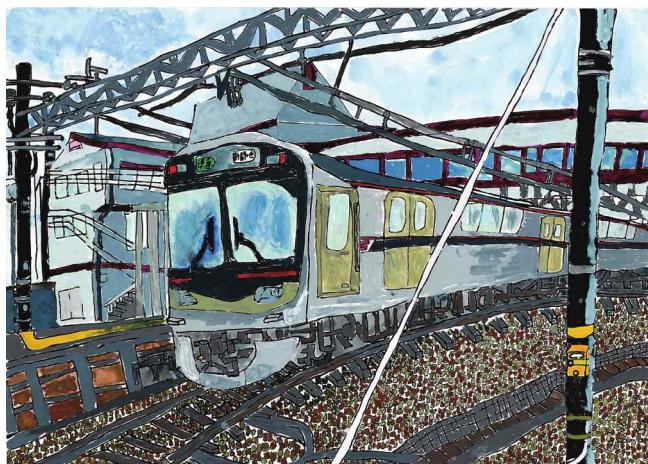
## 加古川線賞



「コスモスばたけのでん車」

加古川市立陵北小学校 2年

西多 咲桜



「小野駅、出発進行!!」

小野市立市場小学校 5年

伊原 正太



## 粟生線賞



「わが街を走る列車」

加西市立北条小学校

山内 莉瑚

6年



## 北条鉄道賞